

当院心臓血管外科よりごあいさつ



心臓血管外科医長 熱田 義顕

血管外科は血管病変の手術的治療を扱う外科の一分野です。当院では心臓血管外科として心臓外科と一体となったチームで治療に取り組んでおります。

血管の病気は血管が大きく(太く)なって最終的に破裂に至る拡張性の病気と、狭くなって最終的には閉塞する(つまる)閉塞性の病気の大きく二つに分けることができます。

拡張性の病気の代表例は大動脈瘤と大動脈解離です。大動脈瘤の破裂や大動脈解離は生命にかかわる病気です。また下肢静脈瘤も拡張する病気ですが生命に危険を及ぼすことはほとんどありません。

閉塞性の病気は特に足の動脈に起こることが多く、足の重だるさ、しばらく歩くと痛みが生じ休むと改善する跛行症状から、安静時痛や足の壊死に至る多彩な症状が特徴的です。静脈の閉塞ではいわゆるエコノミークラ

ス症候群として有名な急性肺動脈閉塞を起こすと生命にかかわる病気となります。

血管外科の治療は人工血管置換術やバイパス手術などの外科手術が主流でしたが近年カテーテルによる治療が進歩し当科でも胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフトや下肢動脈に対する末梢血管ステントグラフトを導入しております。

一人ひとりの患者様に最も適した治療をこの十勝で提供できるよう病院スタッフと力を合わせ頑張っております。



「こころみ Q&A」

院外処方箋について

今回は、薬剤科 椋本 啓介さんが答えてくれました。

Q. どの薬局に持っていけば良いですか？

A. 「保険調剤」の看板がある薬局であれば、全国どこでも受付してくれます。通いやすいところで「かかりつけ薬局」を決めておく、薬の管理や相談がしやすくなります。

Q. 処方箋の期限はいつまでですか？

A. 病院で交付されてから**4日以内(交付日を含めて4日間)**です。期限を過ぎてしまうと、無効になってしまい調剤薬局でも受付できないので、期限は必ず守りましょう。特に連休前の受診は要注意です。

Q. 処方箋の期限が切れたらどうすればいいですか？

A. 病院への再受診が必要です。処方箋の再発行には保険が適用されないため、**全額自己負担**となります。

Q. 期限を切れないようにするには？

A. 処方箋を受け取ったらすぐに調剤薬局へ持っていくか、または調剤薬局へFAXを送りましょう。FAXを送った後は忘れずに薬を受け取りにいきましょう。

ここでは、当院への
疑問質問をこころみ
Q&Aとしてお答えしたい
と思います。

みなさまからの
質問をお待ち
しております！

ご質問の
ある場合は
ホームページの
お問い合わせ
ページへ
お気軽にどうぞ！

「睡眠障害」について

精神科だより <精神科認定看護師 佐々木 法広>

病院まつりで「睡眠度自己評価」を担当させていただいた精神科認定看護師の佐々木です。

今回、その睡眠について少しお話ししたいと思います。病院まつりでは「ぐっすり眠るための7つの工夫」として資料をお渡ししました。

「不眠(睡眠障害)」になる理由は、不規則な生活や生活環境、病気など様々な原因により、それがストレスとなって自律神経のバランスが乱れることが大きな要因となります。そこで「ぐっすり眠るための7つの工夫」を実践するうえで、大切なことを紹介します。

それは、「眠れないことへの恐怖心や不安をなくすることから始める」ということです。「眠れない」と意識すると心身がストレスを感じ、さらに眠れなくなるといった悪循環に陥ってしまいます。まずは目を閉じて軽く休むことが大切となります。それと、眠る時の環境を整えるのも効果的です。眠る1〜2時間前に部屋の明かりを暗めにし、リラクゼーション音楽を聴いたり、アロマを焚いたり、リラックスできる空間をつくってみるのも良いと思います。いかがでしょうか。まずは試してみてくださいね。



ぐっすり眠るための7つの工夫

1. 午前中に日光を浴びるようにする
眠りのホルモン(メラトニン)は朝の光を浴びた14〜16時間後に分泌されます
2. 食事はなるべく決まった時間に
3. 散歩や運動は夕方に行う
4. 入浴は眠る30分前に入るようにする
5. 眠る2時間前ぐらいから強い光は避ける
携帯電話・スマートフォン・パソコン・ゲーム・明るい照明は避ける
6. カフェインの入っている飲料物は眠る時間前までにしておく
コーヒー・緑茶・紅茶など
7. 寝室の室温は18℃〜26℃に保つようにする



独立行政法人国立病院機構帯広病院 睡眠についての資料

「インフルエンザ治療薬」について

薬剤科だより <薬剤科 椋本 啓介>

インフルエンザが流行するシーズンが今年もやってきました。

今回は、現在日本で使用できるインフルエンザ治療薬をご紹介します。

商品名	リレンザ	タミフル	ラビアクタ	イナビル	ゾフルーザ
製品					
一般名	ザナミビル	オセルタミビル	ベラミビル	ラニナミビル	バロキサビル
投与経路	吸入	経口	点滴	吸入	経口
用法用量	1日2回 5日間	1日2回 5日間	1回	1回	1回

これらのインフルエンザ治療薬は、ウイルスが体の中で増殖するのを止める効果があります。

注意 インフルエンザ罹患時には、転落等に至るおそれのある異常行動があらわれることがあります。少なくとも**発熱から2日間**は転落等の事故に対する防止対策を行ってください。異常行動は、特に就学以降の未成年男子に多く見られます。

インフルエンザが流行するシーズン中は、マスクの着用・うがい手洗い・人ごみを避けるなどの対策が必要です。予防をしてもインフルエンザに感染することはありますので、高熱・倦怠感があればすぐに医療機関を受診しましょう。



使用法は医療機関や調剤薬局から指導があります。